

共愛学園前橋国際大学における私立大学等改革総合支援事業を中心とする私学助成を基盤とした取組と成果

学校法人共愛学園

共愛学園前橋国際大学
共愛学園高等学校
共愛学園中学校
共愛学園小学校
共愛学園こども園
共愛学園学童クラブ

学校法人共愛学園沿革

1888年：前橋英和女学校開校
1889年：上毛共愛女学校と改称
1939年：共愛幼稚園開設
1947年：中学・高等学校の併設
1988年：共愛学園女子短期大学開学
1999年：共愛学園前橋国際大学開学
2009年：共愛学園木瀬保育園開設
2011年：共愛学園学童クラブ開設
2016年：共愛学園小学校開校
共愛学園こども園開設

共愛学園前橋国際大学概要

大学名	共愛学園前橋国際大学 (Kyoai Gakuen University)
設置者	学校法人共愛学園
開設	1999年4月1日
所在地	群馬県前橋市小屋原町1154-4 TEL：027-266-7575(代)
学部学科	国際社会学部 国際社会学科
専攻(コース)	国際社会専攻 (英語/国際/情報・経営/心理・人間文化コース) 地域児童教育専攻 (児童教育コース)
学位	学士(国際社会)
理念	共愛=共生の精神
目的	国際社会のあり方について見識と洞察力を持ち、国際化に伴う地域社会の諸課題に対処することのできる人材の養成
モットー	学生中心主義 地域との共生 キャッチフレーズ：ちょっと大変だけど実力がつく大学です
入学定員	1年次：225名 3年次編入学定員：5名
収容定員	910名
在籍学生	1031名

私立大学等改革総合支援事業採択状況

2013年度	タイプ1 大学教育質転換型 タイプ2 地域特色型 タイプ3 多様な連携型
2014年度	タイプ1 教育の質的転換 タイプ2 地域発展 タイプ4 グローバル化
2015年度	タイプ1 教育の質的転換 タイプ2 地域発展 タイプ4 グローバル化
2016年度	タイプ1 教育の質的転換 タイプ2 地域発展 タイプ4 グローバル化

私大等教育研究活性化設備整備事業採択状況

2012年度	タイプB グローバルな教育環境の下で学生が多様な交流や切磋琢磨する機会を得られる環境を整備する取組
2013年度	タイプ1 大学教育質転換型 タイプ2 地域特色型
2014年度	タイプ1 教育の質的転換 タイプ2 地域発展 タイプ4 グローバル化
2015年度	タイプ1 教育の質的転換 タイプ2 地域発展 タイプ4 グローバル化
2016年度	タイプ1 教育の質的転換



共愛学園前橋国際大学
KYOAI GAKUEN UNIVERSITY

教育の質的転換 取組

取組の例

学長を中心とした教職一体
教学マネジメント体制

1 AL授業の全学展開

シラバスの充実

- 授業外学修内容と時間の明記
- AL/PBL/SL種別の明記
- 涵養する学修成果指標の明記

ナンバリングの実施

- FDとして全教員で実施

厳格な成績評価の実施

- S評価の相対評価へ

学修行動調査の実施

IRシステムの構築

2 学修成果指標の策定

- 共愛12の力と評価のための
コモンルーブリックの策定

3 エビデンスベースの 学修成果可視化と キャリアへの接続

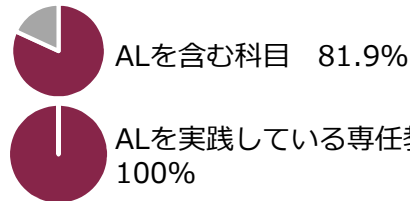
4 ピア学修支援の展開

5 高大接続事業

入学試験の外部試験活用

特徴的な取組をPick Up

1 AL授業の全学展開



アクティブラーニングのために
設計されたKYOAI COMMONS



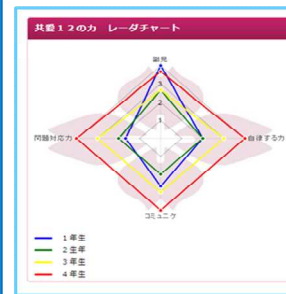
Ubiquitous Campus = 全校舍Wi-Fi化

2 学修成果指標「共愛12の力」

識見	共生のための知識	文化、社会、地域、人間、自然、外国語に関する知識
	共生のための態度	倫理観、シチズンシップ、学び続けることを尊重する態度
	グローバル・マインド	国際社会と地域社会（群馬）の関わりを捉える視点
自律する力	自己を理解する力	自分の特徴、強みや弱み、成長を把握する力
	自己を制御する力	ストレスに対処し、学びやその他行動を継続させる力
	主体性	自ら課題を見つけ、行動計画を立て、実行していく力
コミュニケーション	伝え合う力	読み、書き、話し、表現し、伝える力
	協働する力	チームで物事に取り組む力
	関係を構築する力	他者と円滑な関係を築く力
問題に対応する力	分析し、思考する力	情報を収集・分析し、問題を見つける力 / 論理的思考力
	構想し、実行する力	問題に対応するためのプランを立て、実行する力
	実践的なスキル	現代社会において必要な基礎スキルと専門的スキル

3 エビデンスベースの学修成果可視化とキャリアへの接続

4年間の主体的な学修と
その成果を目に見える形で
積み上げ、キャリアへと
つなげる。



4年間のあらゆる学びと活動を、eポートフォリオである
KYOAI CAREER GATEに蓄積し、学修を振り返りながら、
それをエビデンスとして、学修成果指標とコモンルーブリック
に基づき成果の自己評価と可視化。さらに、活動
や成果を**SHOWCASE**を通して社会へと発信し、キャリア
へと接続。

4 ピア学修支援



- Library Peer Tutor (上級生によるレポート指導)
- English Peer Tutor
- IT Support
- 交流センター-Resident Assistant

5 高大接続

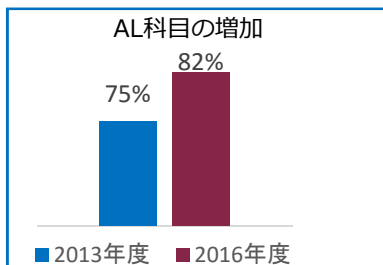


- 高大連携 コラボゼミ
県・県教委との連携により高校生が大学に通い大学生とゼミを展開
- 県内公立高校における授業担当
当該高校において課題研究の授業を本学教職員が担当し、単位も認定する取組。
- 高大連携フォーラム (県教委主催)
- ポートフォリオを用いた高大接続
共愛学園高校の生徒にKCGアカウント付与

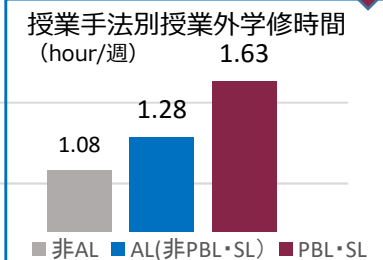
■ AL(Active Learning)=一方的講義ではなく主体的・協働的で深い学び ■ PBL(Problem/Project Based Learning)=課題解決型学修 ■ SL(Service Learning)=学修とサービスを繋いだ社会貢献型体験学修 ■ FD(Faculty Development)=教員の教育力向上のための諸取組 ■ ナンバリング=科目に分野と難易度を付し課程体系を明示 ■ IR(Institutional Research)=学内情報の収集分析により意思決定や改善活動を支援、説明責任も果たす取組 ■ ルーブリック=評価基準を観点と尺度からなる表で示したもの ■ eポートフォリオ=学修の記録・振り返り・成果物等を電子的に蓄積する仕組み ■ SHOWCASE=ポートフォリオの記録(Best Work等)を外部に公開する仕組み ■ ピア学習支援=学生同士が学び合う取組 ■ KCG=KYOAI CAREER GATEの略

教育の質的転換 変化と成果

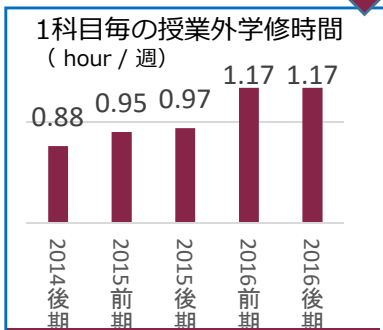
改革総合支援事業を基盤とする取組により、教育の質的転換が進化/深化し、同時に学修成果の可視化という今求められている教育改革を大きく前進させることができた。結果として学生の学びの質が向上し、実際に力をつけていることが明らかになった。



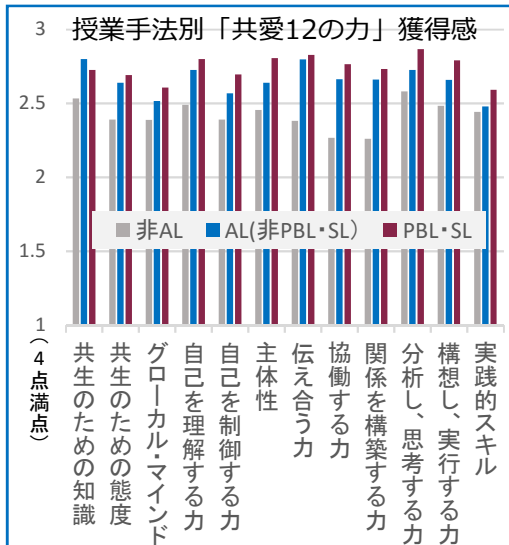
改革総合支援事業により質的転換に取り組むことでアクティブラーニング(AL)を含む授業数が増加。



学修行動調査(2016年度)によりALやPBL授業のほうが授業外学修時間が長いことが分かった。



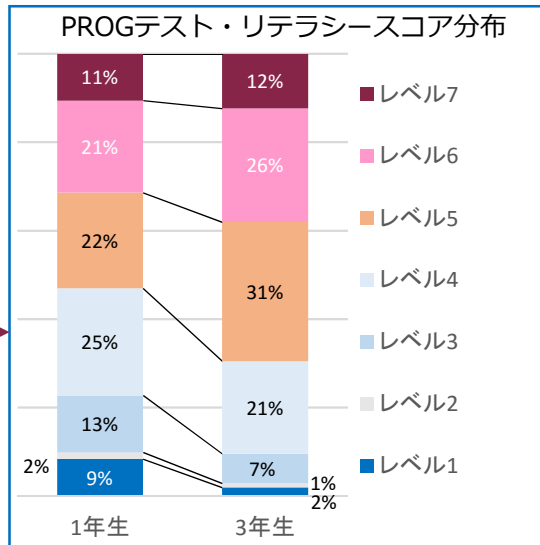
結果として、授業外学修時間が経年で伸長した。



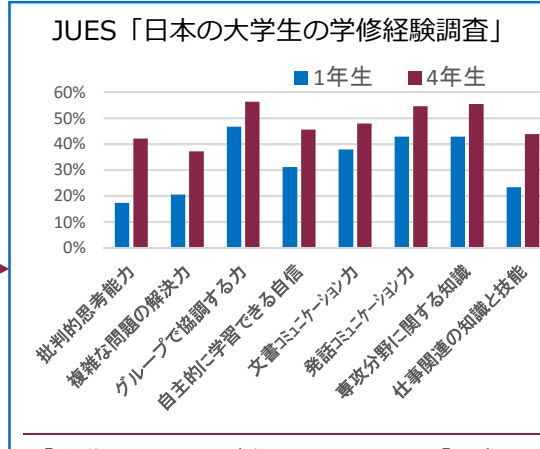
授業アンケートによりALやPBL授業のほうが学修成果指標である「共愛12の力」の各力の獲得感が高いことが分かった(2016年度)。



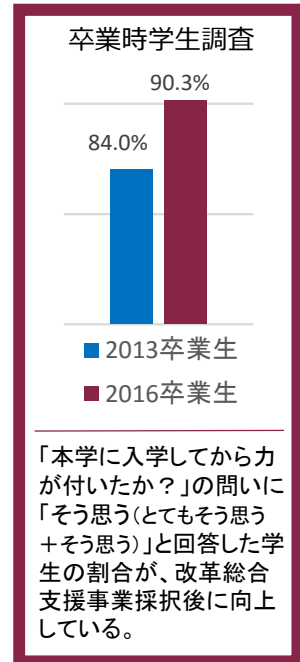
結果として、学年進行に伴い共愛12の力の各項目が伸長している(2016年度)。



河合塾実施の汎用能力測定客観テストでも、1年生より3年生の方が能力レベルが高くなっており、学生の成長が明らかになった。(2016年度)。

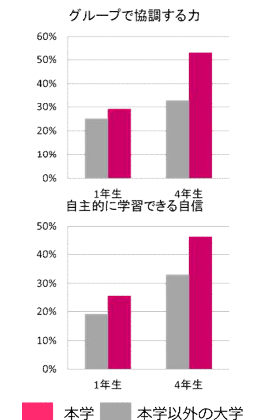


「大学で〇〇の力が向上したか」の間に「非常に」「かなり」の回答が1年より4年が多くなっている。(2016年度)。



「本学に入学してから力が付いたか?」の問いに「そう思う(とてもそう思う+そう思う)」と回答した学生の割合が、改革総合支援事業採択後に向上している。

(参考)2015の左記調査では、下記の様に他大学と比べて学生が成長していることが明らかに。

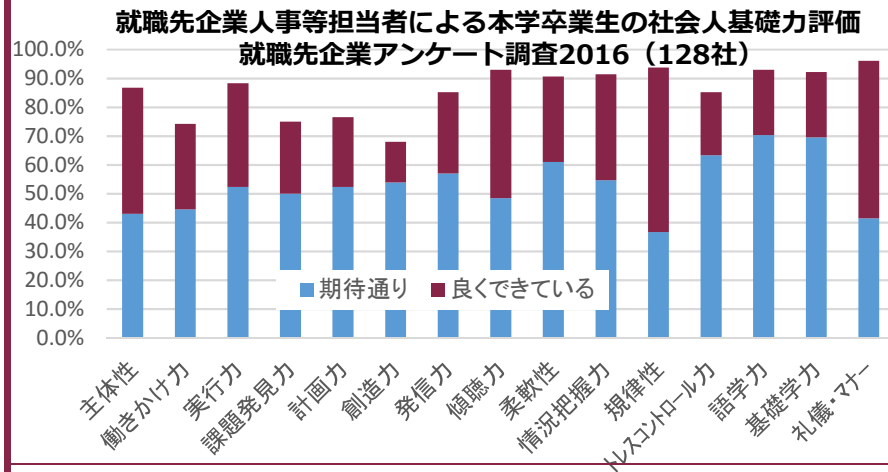


■ PROGテスト(Progress Report On Generic skillsテスト)=河合塾が開発したジェネリックスキル(汎用能力)をリテラシー(知識活用力)とコンピテンシー(行動特性)で測るテスト
 ■ JUES(Japan University Experience Survey)=オーストラリア教育研究所と河合塾がオーストラリアの大学生調査を参考に開発した調査

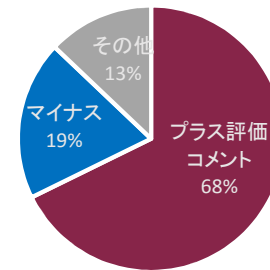
各分野を総合した社会からの評価

改革総合支援事業等の助成を受けた取り組みが、大学改革や学生の成長に寄与することはもちろんのこと、その成果が社会へも還元されているかを、社会からの評価も受けつつ検証している。

就職先からの評価



上記調査における在勤卒業生に対する回答者の付帯コメント



- インターン参加時からの成長を実感します。
- とても素敵な卒業生。新人賞を受賞し、期待に応える頑張りを見せてくれています。
- 学生時代の生活を通じて、人とのつながり方を勉強してきている。
- チームを巻き込んで主体的・積極的に取り組んでいる。
- 輸出入業務について、語学力を生かし遂行している。
- 現在2年目のスタッフですがサブリーダーとして活躍しています。
- 業務の理解力、習得の早さ、コミュニケーション能力どれをとっても期待以上の力を発揮している。
- 弊社の核である「提案」「企画」できていると感じます。

卒業生が在籍する企業にアンケートを実施。社会人基礎力12項目に独自3項目を加え、当該卒業生が「良くできている」「期待通り」「物足りない」で評価いただいた。概ねどの項目でも8割以上の卒業生が「良くできている」又は「期待通り」と評価されているが、「創造力」「課題発見力」等物足りなさを感じられている項目も見られた。これらの結果がCHECKであり、これを活かしてさらなるカリキュラム改善(ACTION)に繋げることができる。

卒業生在籍企業へのヒアリング調査2015・2016(125社)

- 海外営業事務に従事している。
- 海外取引部門へ配属となり、語学に期待している。
- 本社で英語を駆使した海外との貿易や工場案内を担当。
- 工場において外国人労働者の通訳・サポートにあたっている。
- 持ち前の英語力で営業に当たっている。
- 現在技術営業部門におり、海外との取引や輸出業務を行っている。上司からの評価もよく、非常に優秀で即戦力。
- 営業企画室に勤務し、大学時代の商品開発の学びを活かして営業戦略・企画を考案している。
- 副支店長を務めており大変印象がよい。
- ビジョン創造室に勤務しCSR等を担当。
- 入社二年目でリーダーを任せられ活躍。巻き込む力が特に優れている。

- 人事部に勤務し、貴学の地域人材育成協議会にも参加。
- 金融サービス・接待ロールプレイコンテストで2位を獲得。
- よく頑張っており、採用パンフに抜擢。
- 社内の販売や企画に関するコンテストでもトップを獲得するなど、評価が高い。
- 視野の広さは極めて広く、採用してしばらくしてから非常に良い人材を感じた。特に前向きな姿勢、一生懸命に働く姿、明るい笑顔と雰囲気です社内でも一番人気が高い。
- 人事部からの評価が特に高く、入社前研修でもグループを越えて学生をまとめたり、連絡先を交換しあったりと、リーダーシップ・協調性を発揮している。

ほぼ高評価コメントを頂いており、その抜粋を掲載。

各種ランキング

<大学ランキング2018（朝日新聞社出版）>

- ・ 学長からの評価
教育面で注目 5位
総合的（教育+研究）に注目 14位
注目する学長がいる 14位
- ・ 高校からの評価（キリスト教系） 30位
- ・ 留学生派遣総数（16単位以上取得） 90位
- ・ 外国人教員の比率（学生1000人以上3000人未満） 5位
- ・ 入学者の地元出身比率 47位

<THE世界大学ランキング日本版>

- ・ 国際性 27位
- ・ 全学生に占める留学経験者の割合（短期） 2位
- ・ 全授業に占めるアクティブラーニングで行われる授業の割合18位

<週刊ダイヤモンド(2015.11.7号)>

- ・ 最強大学特集 グローバル教育力 28位